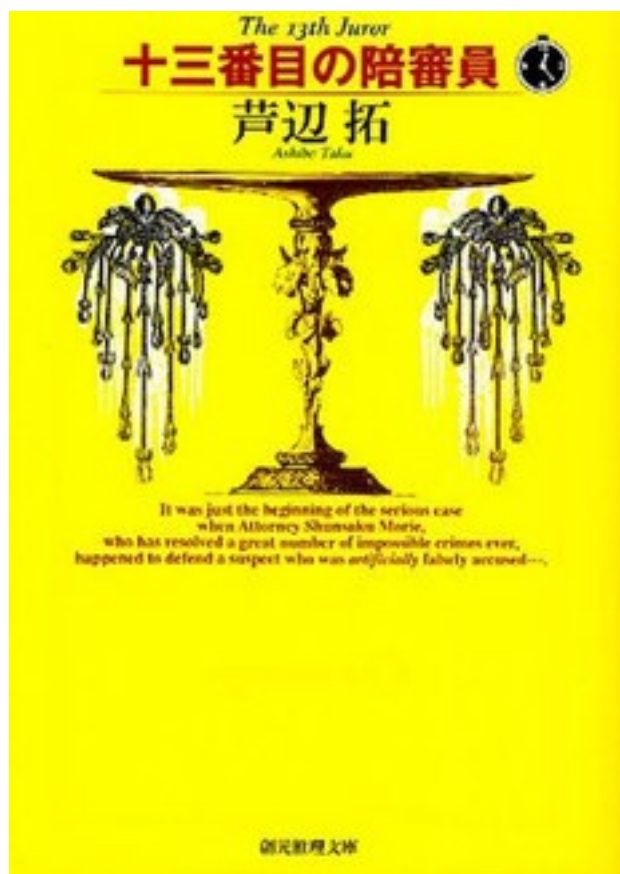


# 十三番目の陪審員



[十三番目の陪審員\\_下载链接1](#)

著者:芦辺拓

出版者:東京創元社

出版时间:2008-10

装帧:文庫

isbn:9784488456047

架空の殺人事件を演出し、その容疑者として冤罪の実態を取材する「人工冤罪」計画の犯人役に志願した鷹見瞭一は、DNA鑑定すら欺く偽装を経て、予定通り警察に連行された一全く身に覚えのない現実の殺人容疑者として!関西初の陪審法廷での弁護を引き受けた森江春策は、検察側との熾烈な攻防の末、結審に至って驚愕の真相を暴き出す。本格ミステリと法廷劇の奇蹟的融合

作者介绍:

目录:

[十三番目の陪審員\\_下载链接1](#)

## 标签

日系推理

芦边拓

芦边拓

◆推理◆

Mystery

## 评论

正统法庭／倒叙类推理小说，加之逆转+意外性结尾，前半本感觉像是裁判有误，后半本的布局又有点像是连城的蜜。除了三观过于正以外应该是没有缺点了，恭喜芦边老湿走出三星俱乐部，改日补个书评。

-----  
老湿你的书评呢？

-----  
<http://lockedroom.net/blog/?p=3854>  
主人公参加“冤罪计划”，没想到假戏真做，深陷犯罪漩涡，从血型到DNA都与犯人完全匹配。森江春策完成不可能的辩词，揭露案情的惊天诡计，但法庭仍判主人公有罪。犯人的真实目的其实是一盘政治大棋，“有罪”之后剧情竟然再次大逆转。充满巧思的

杰作!

-----  
[十三番目の陪審員\\_下载链接1](#)

书评

-----  
[十三番目の陪審員\\_下载链接1](#)